

# 音 楽

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出 ◆	音楽 1 0 3 2 0 3 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	AB変型 514	令和5年  (12冊)
27	教育芸術社	教 芸 ◆	音楽 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4	AB変型 508	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	児童の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等  2 障害への配慮を要する内容等	①動きを模倣する活動など、視覚的な情報で学習活動が工夫できるもの  ①音の重なりによる響きを感じ取ることがねらいになっており、学習活動に困難が想定されるもの ②演奏や歌唱の聞き比べ等、学習活動に困難が想定されるもの
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ②写真、図絵等で視覚的に示されているもの

小学部 音楽(聴覚障害特別支援学校)

発行者		教出	教芸
内	表現及び鑑賞の教材数	335	289
	表現の歌唱の教材数	182	142
	表現の器楽の教材数	56	62
	表現の音楽づくりの教材数	16	19
	鑑賞の楽曲数	81	66
	音楽を形づくっている要素について、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて示した箇所数	129	130
	音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について示した箇所数	117	118
	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図ることを示した箇所数	32	51
	我が国や郷土の伝統音楽の曲数(歌唱)	23	14
	我が国や郷土の伝統音楽の曲数(鑑賞)	16	20
	諸外国の音楽の曲数と資料数(表現の曲数)	56	38
	諸外国の音楽の曲数と資料数(鑑賞の曲数)	65	42
	他教科等や幼稚園教育要領における表現に関する内容などと関連させた題材等の数	22	22
	発展的な内容を取り上げている箇所数	43	55
容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①動きを模倣する活動など、視覚的な情報で学習活動が工夫できるもの	53箇所 ①2年「はくやドレミとなかよし」では、教師や友達の模倣をして拍やリズムを表現する活動があり、視覚的な情報で学習活動の工夫ができる。(P20-21)	34箇所 ①1年「わらべうたをきいたりうたったりしてあそびましょう」では、教師や友達の模倣をして、わらべ歌を歌いながら絵を描いたり、大縄跳びを跳んだりする活動があり、視覚的な情報で学習活動が工夫できる。(P66-67)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音の重なりによる響きを感じ取ることがねらいになっており、学習活動に困難が想定されるもの ②演奏や歌唱の聞き比べ等、学習活動に困難が想定されるもの	51箇所 ①6年「せん律のひびき合い」では、グループに分かれ、全体の響きを聞き合いながら演奏する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P28-29) ②5年「音楽のききどころ」では、楽器の特徴や旋律の変化を聴き取る活動があり、学習の際に配慮を要する。(P52-53)	77箇所 ①5年「和音のひびきの移り変わりを聞き取ろう」では、声の重なりを感じながら合唱する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P36-37) ②2年「せいかつの中にある音を楽しもう」では、身の回りにおける動物の鳴き声を使って音楽をつくる活動があり、学習の際に配慮を要する。(P28-29)
構成上の工夫	説明資料の箇所数	43箇所	38箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの	①4年「はくとせんりつ」では、拍子の違いが比較しやすいよう、図等で視覚的に説明している。(P14-15)	①3年「せんりつの重なりをかんじとろう」では、リコーダーで低い音を出すときの息の流れをホースから出る水の流れに見立て、イラストで視覚的に説明している。(P48-49)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし

小学部 音楽(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		教出	教芸
内	表現及び鑑賞の教材数	335	289
	表現の歌唱の教材数	182	142
	表現の器楽の教材数	56	62
	表現の音楽づくりの教材数	16	19
	鑑賞の楽曲数	81	66
	音楽を形づくっている要素について、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて示した箇所数	129	130
	音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について示した箇所数	117	118
	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図ることを示した箇所数	32	51
	我が国や郷土の伝統音楽の曲数(歌唱) 共通教材以外の唱歌の曲数	23	14
	我が国や郷土の伝統音楽の曲数(鑑賞)	16	20
	諸外国の音楽の曲数と資料数(表現の曲数)	56	38
	諸外国の音楽の曲数と資料数(鑑賞の曲数)	65	42
	他教科等や幼稚園教育要領における表現に関する内容などと関連させた題材等の数	22	22
	発展的な内容を取り上げている箇所数	43	55
容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、学習活動が工夫できるもの	49箇所 ①1年「うたってうごいてみんなでおんがく」では、わらべうたを歌いながら動きを合わせて遊ぶ活動があり、動きを簡略化するなど学習活動の工夫ができる。(P14-15)	41箇所 ①5年「いろいろな音のひびきを味わおう」では、児童が演奏しやすい打楽器やリズムパターンを選択するなど学習活動の工夫ができる。(P30)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、楽器の演奏等の学習活動に困難が想定されるもの ②心疾患等に関わる配慮が必要なもの ③各学年の児童数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの	57箇所 ①2年「はくやドレミとなかよし」では、鍵盤ハーモニカの運指を示してあり、学習活動に困難が想定される。(P29) ②1年「こんにちはけんぱんハーモニカ」では、様々な息の吹き入れ方を行う活動があり、配慮を要する。(P33) ③3年「ミッキーマウスマーチ」では、6つのパートに分かれて合奏する活動があり、取扱いが困難と思われる。(P66-67)	61箇所 ①6年「音楽で思いを伝えよう」では、リコーダーの運指が示してあり、学習活動に困難が想定される。(P53) ②1年「どれみとなかよくなろう」では、鍵盤ハーモニカに長く息を吹き入れる活動があり、配慮を要する。(P35) ③4年「スーパーカリフラジリスティックエキスピアリーダーシャス」では、7つのパートに分かれて合奏する活動があり、取扱いが困難と思われる。(P80)
構成上の工夫	説明資料の箇所数	43箇所	38箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ②写真、図絵等で視覚的に示されているもの	①各学年の巻末に、「『音楽のもと』まとめ」として、学習と関連した内容がまとめてある。(5年P78など) ②6年「音楽のききどころ」バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章では、旋律によって演奏に用いられる楽器が変わっていく様子がイラストで示されている。(P30)	①各学年の巻末に、「ふりかえりのページ」として、学習のポイントをまとめてある。(3年P82など) ②2年「くりかえしを見つけよう」トルコ行進曲では、異なる二つの旋律を図式化して示されている。(P42)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし

